

平成20年2月21日
沖縄電力株式会社

NEDO^{※1}太陽光発電システム等国際共同実証開発事業の受託について

この度、NEDOの標記事業に応募した当社の提案が採択され、ラオス人民民主共和国における実証開発事業を受託しました。

受託内容は、ラオス人民民主共和国ポンサリー県マイ郡において、太陽光発電の出力変動を緩和し電力品質への影響を小さくするシステム制御技術等の実証開発を行うものです。

雨期と乾期で日射量や河川の水量が大きく変動する地域では、太陽光発電と小水力発電とを組み合わせたハイブリッドシステムが有望視されています。

今回の研究では、太陽光発電の日射量の変化に伴う出力変動が大きいという課題に対して、瞬時の充放電が可能な電気二重層キャパシタ（電力貯蔵機器）による調整を行い、さらに小水力発電による出力調整を行うことで、より安定的な電力供給が可能な太陽光発電システムの実証開発を行います。

本事業を通じて太陽光発電システムの新たな技術の開発が期待されます。

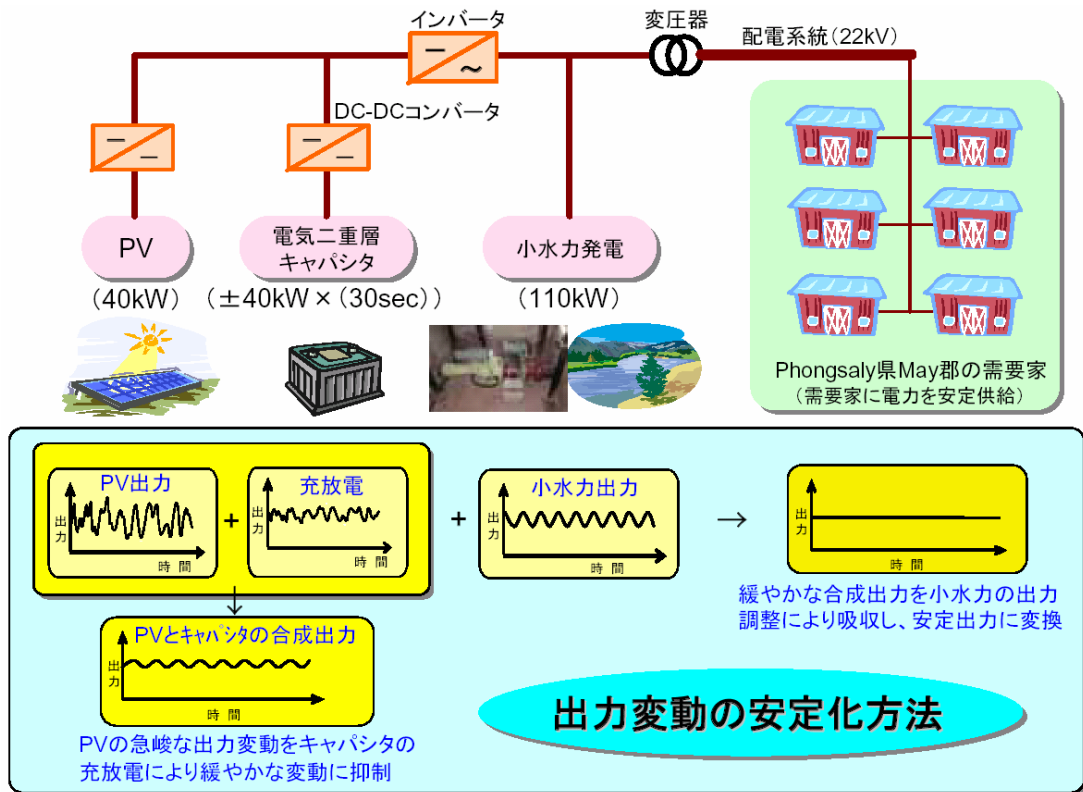
※1 NEDO:New Energy and Industrial Technology Development Organization
独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

【事業について】

- (1) 期間：平成19年10月15日から平成22年3月20日
- (2) 実証試験場所：ラオス人民民主共和国ポンサリー県マイ郡
- (3) その他：業務の一部を沖電設計(株)、(株)明電舎に再委託します。
 - ①沖電設計(株) [システム設計、工事監理等]
 - ②(株)明電舎 [シミュレーションの実施、小水力発電設備およびキャパシタ関連設備の設計・製作・設置工事等]
- (4) 参考：関連情報（NEDO ホームページ）
ラオス政府との「太陽光発電システム等国際共同実証開発事業」基本協定書に署名
－太陽光発電システムの新しい出力安定化技術開発を推進－

URL : http://www.nedo.go.jp/informations/other/200219_1/200219_1.html

【システムイメージ】



システム構成機器の出力等は、今後変更があり得る。

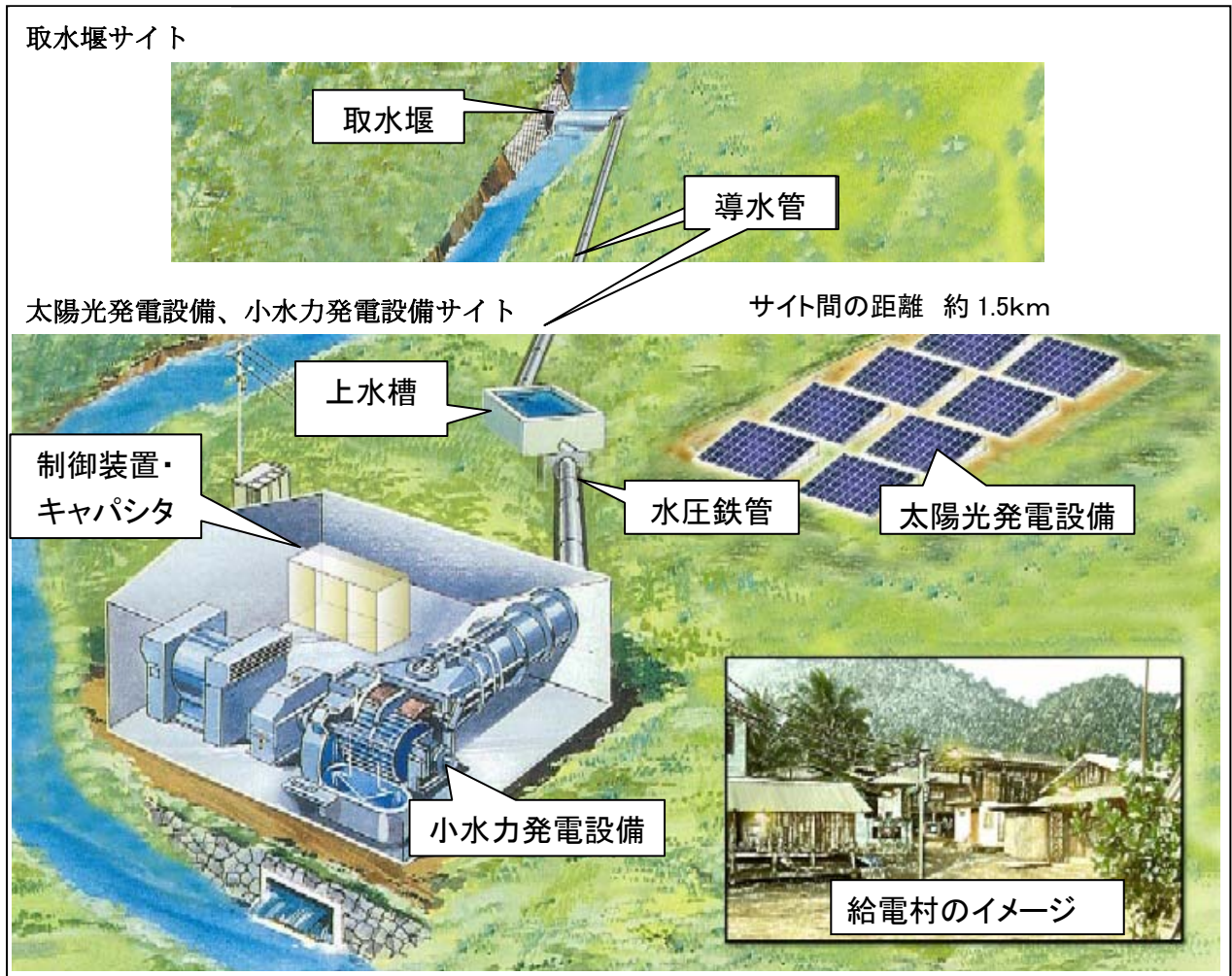
NEDOホームページから引用

【実施場所マップ】



NEDOホームページから引用

【完成イメージ図】



以上